

第2期中期目標（平成27～31年度）に向けた中長期ビジョンの概要

こころの医療センター駒ヶ根



【目指すべき病院の姿】 長野県精神科医療の中核病院として、先進的専門医療と地域医療を提供する「ひらかれた病院」を目指す

【目指すべき病院の姿を実現するための重点目標】

- 1 救急・急性期医療の強化
- 2 疾患別多機能デイケアの導入
- 3 外来患者の初診時等の相談、インテーク面接の充実・強化
- 4 県内医療機関・福祉施設との連携体制の構築

【重点目標に関する主要な取り組み事項】

<p>☆1 救急・急性期医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○24時間体制による精神科救急医療の提供 →県下唯一の常時対応施設としての機能発揮 →救急・急性期治療病棟の機能充実 ○児童精神科病棟の入院期間短縮と関係機関との連携強化 ○早期治療、早期退院のため、障害者の社会生活支援体制の強化 	<p>☆2 多様化する疾病傾向に対応したデイケアの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デイケアにおける疾患別治療計画の充実 →「発達障害」・「うつ」に対応した個別プログラム →適切なアセスメントによるプログラムや利用期間の明確化
<p>☆3 外来患者の初診時の相談、インテーク面接の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心理、PSW部門の職員体制強化 →増加する「思春期」・「発達障害」への対応 →多職種チームによる情報収集・整理・評価 →外来インテーク面接の充実によるチーム医療の強化 	<p>☆4 県内医療機関・福祉施設との連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○早期退院後の通院や社会生活を支える近隣医療機関・福祉施設との連携強化 ○児童精神科の適切な医療提供のため、医療、福祉、教育分野との役割分担と協力体制の構築
<p>☆5 業務運営の改善、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○限られた病床を最大限に活用するため、効率的なベッドコントロールによる入退院管理を実施 →病床回転率、平均在院日数、病床利用率等の目標管理 ○公開講座の開催や広報の充実による情報発信力の向上 	<p>☆6 その他医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クリニカルパスの充実、適用対象疾患の拡大 ○医療観察法対象者への適切な医療の提供 ○認知症研究・治療体制づくりに向けた県との連携

【平成24～26年度（第1期中期計画期間）の主要事業】

(平成24年度)

事業名(実施年度)	事業内容	予算及び収支見込
A2(依存症)病棟の急性期治療病棟化	・急性期患者受入態勢の整備 ・看護体制を強化し、早期治療と早期退院の促進を図る	・増収見込2,400万円 (精神科急性期治療病棟入院料) ・看護師4名増
疾患別多機能デイケアの導入	・従来の統合失調症をモデルとしたデイケアに加え、「発達障害」「うつ」に対応したデイケアの順次導入	・看護師1、作業療法士1増

(平成25年度)

事業名(実施年度)	事業内容	予算及び収支見込
外来における臨床心理業務の強化	・増加する「思春期」「発達障害」患者への対応 ・外来初診時の心理職員によるインテーク面接の充実	・臨床心理士1増

(平成26年度)

事業名(実施年度)	事業内容	予算及び収支見込
地域連携室の充実	・病院職員が地域医療機関へ巡回訪問し、患者の早期治療と早期退院促進の協力体制を構築 ・窓口機能を地域医療の拠点として強化	・精神保健福祉士1増

第2期中期目標（平成27～31年度）に向けた中長期ビジョンの概要



【目指すべき病院の姿】 県内のみならず近隣県に対し救急から在宅に至るまでの各分野にわたる先進の医療が提供できる小児・周産期専門総合病院・我が国の小児・周産期医療をリードする人材を育成できる病院

- 【目指すべき病院の姿を実現するための重点目標】**
- 救急医療体制の強化
 - 先天性心疾患の遠隔診断システムの構築・小児がん・発達障害等医療機能のさらなる充実
 - キャリアオーバー患者への対応：先天性心疾患の成人患者対象の専門外来の開設
 - 小児医療スタッフの育成

【重点目標に関する主要な取り組み事項】

<p>☆1 救急医療体制の強化</p> <p>近隣の2次医療圏の救急医療体制を補完できるよう、院内の救急医療体制を強化</p>	<p>☆2 医療機能のさらなる充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○先天性心疾患スクリーニングネットワークシステムの充実 ○小児がん診療機能の向上 ○発達障害専門外来の円滑な運営 ○産科受入患者の拡大 ○常勤医（眼科・遺伝科・泌尿器科・耳鼻科）の確保
<p>☆3 キャリアオーバー患者への対応</p> <p>県や信大などの県内医療機関と連携し、先天性心疾患患者や重症心身障害者を中心とした成人患者に対する適時・適切な医療サービスの提供体制を検討 先天性心疾患患者は、当面、院内に専門外来を開設</p>	<p>☆4 小児医療スタッフの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修推進室の一括管理による研修体制の充実 ○信大などの他の医療機関等における研修の奨励 ○後期研修医の積極的な受け入れ ○信大等の大学院学生の教育等を行う連携講座の開設を準備
<p>☆5 その他医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公開講座の実施等による地域への情報発信 ○在宅移行・地域支援体制の拡充 ○チャイルド・ライフ・スペシャリスト、医療メディエーターの導入 ○土曜日外来の開設に向けた検討 ○治験・科学研究費助成事業等への積極的参加 	<p>☆6 業務運営の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営企画体制の充実のための、診療情報管理士等人材の確保・育成 ○DPCの導入に向けた準備

【平成24～26年度（第1期中期計画期間）の主要事業】

(平成24年度)

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
出生前心臓診断ネットワークの充実	地域医療機関との画像ネットワークによる心疾患胎児の発見、専門診断実施	医療器械購入費等：57,511千円（H23年度実施済）
産科受入患者の拡大	軽度胎児異常分娩の患者の受け入れ	増収4,000万円（5件/月×12ヵ月）
常勤医の確保	眼科・遺伝科	給与増1,880万円（増収880万円）
DPC導入準備	診療情報管理士、SE等の採用	給与増970万円
その他医療機能の向上	チャイルド・ライフ・スペシャリスト、医療メディエーターの導入	報酬290万円

(平成25年度)

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
常勤医の確保	泌尿器科・耳鼻科	給与増2,260万円（増収6,900万円）

(平成26年度)

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
DPC導入	DPCの導入	増収1億5,000万円

第2期中期目標（平成27～31年度）に向けた中長期ビジョンの概要

須坂病院



【目指すべき病院の姿】

県立病院機構の中核病院として県の医療を支える人材の育成を進めるとともに、感染症指定病院として本県の感染症医療をリードし、がん診療の向上のため遺伝子診断や化学療法分野の充実に努める。

【目指すべき病院の姿を実現するための重点目標】

- 1 医療スタッフの確保とスキルアップ
- 2 感染症診療機能の向上
- 3 がん診療機能（内視鏡センター、遺伝子診断、化学療法分野）の向上
- 4 地域の診療所や福祉施設等との連携を強化する

【重点目標に関する主要な取り組み事項】

<p>☆1 医療スタッフの確保とスキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病院総合医や後期研修医を募集し、育成・指導に努める ○臨床研究の成果を学会等の場で積極的に発表 ○本部研修センターと連携し、臨床研修医をはじめとする若手医師の育成と職員のスキルアップ 	<p>☆2 感染症診療機能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○感染症病床、結核病床の診療機能を持つ強みを活かした感染症診療機能の充実 ○感染症に関する普及・啓発 ○新型インフルエンザ等のパンデミックへの対応準備
<p>☆3 がん診療機能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○内視鏡センター棟（仮称）における診療を開始 ○外来化学療法室のスタッフ体制を整備 ○がん遺伝子検査機器の活用と充実 	<p>☆4 地域の診療所や福祉施設等との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元医師会や診療所、福祉施設等と認識を共有し、紹介、逆紹介の促進や、地域連携パスの充実を図る。 ○地元医師会と連携した診療の充実（日曜・祝日診療や平日の夕暮れ総合診療など）
<p>☆5 その他医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域医療連携システム（IT）を活用した病院間連携の充実 ○電子カルテシステムのメリットを活かした地域の診療所との連携の検討。 ○高額機器の計画的な更新と共同利用の促進。 ○テレビCM等の広報活動やホームページの充実など広報機能の充実を図る。 	<p>☆6 業務運営の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員のプロパー化の促進と、意識改革の一層の推進 ○診療情報管理士と医事スタッフの連携によるDPC分析等、収益の確保を図る。 ○事務職員の資質向上（診療情報管理士資格等の取得）

【平成24～26年度（第1期中期計画期間）の主要事業】

（平成24年度）

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
看護職員の採用・育成	院内保育所の運営 （10名定員、365日、7:00～20:00）	委託費 19,026千円
	看護師増員（純増5名）により、休止している南2階病床（4床）の再開（再開は11月～）	増収額 21,865千円 給与費 25,336千円
感染症診療機能の充実	住民へのPRのための公開講座の開催 遺伝子増幅検査（PCR）の利用促進	-
病院総合医及び後期研修医の採用と育成	新たな育成プログラムの策定 広報活動の強化（HPの充実等） *本部研修センターと連携して実施	-
内視鏡センター・臨床腫瘍部門の充実	専門スタッフの採用・研修強化 がん遺伝子検査機器の活用と充実	-

（平成25年度）

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
南7階病棟の再開	全面休止している南7階病棟を、10月を目途に再開（28床程度） （看護職員純増17名、2-2夜勤体制、）	増収額 156,323千円 （通年ベース 318,645千円） 給与費 86,142千円

（平成26年度）

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
内視鏡センター棟	平成27年のオープンに向けた準備 24年度：院内検討、本部協議 25年度：実施設計等 26年度：建設工事着手	-



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

第2期中期目標（平成27～31年度）に向けた中長期ビジョンの概要



【目指すべき病院の姿】 木曾郡唯一の病院として、急性期から慢性期、在宅医療まで、安心安全で質の高い医療を提供するとともに、人材の確保・育成に取組み、地域から信頼される医療拠点施設

【目指すべき病院の姿を実現するための重点目標】

- 1 がん診療・検診機能の向上
- 2 脳血管疾患にかかる診療機能の向上
- 3 在宅医療の拡大・充実
- 4 人材の確保・育成

【重点目標に関する主要な取組み事項】

<p>☆1 がん診療・検診機能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医師確保 ○チーム医療（緩和ケア等）の推進 ○機器整備（老朽化への計画的更新） ○がん相談支援センターの機能強化 ○がん早期発見率向上のための関係機関との連携強化 	<p>☆2 脳血管疾患にかかる診療機能向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医師確保 ○リハビリテーションの充実強化（土曜リハ→土曜及び休日リハ）
<p>☆3 在宅医療の拡大・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○在宅診療にかかる収益確保策の検討（他福祉施設医等との連携による役割分担の推進） ○郡内行政、医療福祉機関との連携強化（地域連携室の強化） 	<p>☆4 人材の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木曾看護専門学校の3年制課程開設支援 ○看護師確保策の積極的展開 ○臨床研修医の受入れ ○医療技術者卒後研修システムの確立
<p>☆5 業務運営の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病床の効率的・弾力的運用による収益確保 ○診療科別 BSC の展開充実によるチーム医療の推進 ○診療情報管理士を活用し、診療情報を分析し、診療へ反映 	

【平成24～26年度（第1期中期計画期間）の主要事業】

（平成24年度）

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
臨床研修医の受入れ	1名	500万円
看護学生修学資金貸与	10名予定	960万円
がん診療機能の向上	内視鏡システム更新	6,048万円

（平成25年度）

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
臨床研修医の受入れ	2名	1,000万円
看護学生修学資金貸与	10名予定	960万円
がん診療機能の向上	CT・乳房撮影装置	1億2,275万円

（平成26年度）

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
臨床研修医の受入れ	2名	1,000万円
看護学生修学資金貸与	10名予定	960万円
電子カルテシステムの更新		6億9,200万円

第2期中期目標（平成27～31年度）に向けた中長期ビジョンの概要



【目指すべき病院の姿】 地域住民の暮らしと絆（きずな）を支え続け地域に寄り添う医療の実現

【目指すべき病院の姿を実現するための重点目標】

耐震化終了後、次の事項が実現できるよう、将来を見据えて準備を進めていく

- 1 市町村と協働して、疾病の予防・早期発見・治療等健康管理の一元化を図るため、「健康管理センター」を設置する。
- 2 総合医（家庭医）を養成するための「へき地医療研修センター（研修センター阿南病院分室）」を設置する。
- 3 家族相談や情報提供を行える「認知症相談室」を設置する。

【重点目標に関する主要な取り組み事項】

<p>☆1 健康管理センターの設置</p> <p>○住民健診・人間ドッグ等各種健診活動を通じて地域住民の健康を一元管理できるセンターとする。</p> <p>○医師、看護師、保健師、管理栄養士、事務職員を配置して疾病の予防から早期発見、早期治療体制を確立する。</p>	<p>☆2 へき地医療研修センターの設置</p> <p>○自治医大卒業後研修医及び県の医師修学資金貸付対象の卒業研修医に対して、研修センターと協働し、総合医又は家庭医研修を集中教育する。</p> <p>○指導医によるシミュレーショントレーニング、トリアージ訓練、画像診断等及び巡回医療チーム、訪問医療を通じて訓練。加えて周辺診療所医師の参加も可能とする。</p>
<p>☆3 認知症相談室の設置</p> <p>○高齢者が多い地域性から認知症相談、情報提供を行う場所を確保する。</p>	<p>☆4 その他医療機能の充実</p> <p>○飯田市内及び県内の病院との医療連携の強化</p> <p>○飯田市立病院との看護師相互派遣研修の実施</p> <p>○院外処方薬局との協働による医薬分業の実現</p>
<p>☆5 業務運営の改善</p> <p>○町村保健活動の場所提供や農産物加工、趣味の活動等を通じ、地域住民の健康づくりを行うための「健康づくり△△ルーム（仮称）」を付置する。</p> <p>○病院のイメージアップをするために、愛称を募集する。</p>	

【平成24～26年度（第1期中期計画期間）の主要事業】

(平成24年度)

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
リハビリ充実	言語聴覚士の採用	給与 250 万円（増収 560 万円）
地域連携室充実	保健師採用	給与 250 万円
地域連携病院	飯田市立病院との看護師の交流人事	
テレビ特集番組制作放映	「地域に寄り添って 60 年」（仮題）	180 万円（町村負担金含む）

(平成25年度)

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
電子カルテ・オーダーリングシステム構築	・システムの構築、本稼働 ・院外処方箋の発行 ・服薬指導の強化	・システム 3 億円、 保守 2,000 万円 ・院外処方箋発行（増収 1,240 万円/年） ・薬剤管理指導料（増収 135 万円/年）
へき地医療研修センター、健康管理センター、健康づくりルーム設置	東館棟改修	改修 2,000 万円 備品 300 万円

(平成26年度)

事業名（実施年度）	事業内容	予算及び収支見込
リハビリの充実	・作業療法士の採用 ・脳血管リハビリ、作業療法の施設基準の取得	・給与 250 万円 ・脳血管リハ 増収 350 万円 ・作業療法 増収 460 万円
施設基準見直し	7 : 1 入院基本料の算定	・給与 2000 万円（増収 4,500 万円） ※看護師確保策の充実を伴う
訪問薬剤管理指導充実	訪問薬剤専用車の導入	・訪問車 80 万円 ・訪問薬剤管理 増収 180 万円